

## 令和7年度第2回三条市スポーツ推進審議会会議録（概要）

1 日 時 令和8年1月26日（月）午後7時から7時45分まで

2 会 場 大会議室南側

### 3 議 題

(1) 三条市スポーツ推進計画の策定について

### 4 出席状況

(1) 出席委員

佐藤会長、久保田副会長、中條委員、岩瀬委員、結城委員、小柳委員、梨本委員

(2) 欠席委員

杉山委員、田中委員、芳竹委員、小林委員、皆川委員

(3) 事務局

福祉保健部 村上部長

健康づくり課 小林課長、佐藤室長、竹見主査、矢澤主事

(4) 報道機関 なし

### 5 内 容

(1) 開 会

(2) あいさつ 村上福祉保健部長

(3) 議 題

ア 三条市スポーツ推進計画の策定について

事務局（佐藤室長）から資料に基づき説明

岩瀬委員	<p>～質問～</p> <p>59 ページのスポーツ施設の改修等・利活用について、市内のスポーツ公共施設が非常に古くなり、スポーツ協会としても管理が難しくなっている現状があり、施設の在り方の検討が非常に重要な部分だと思っている。今のフィットネス系の民間の施設は、24 時間営業やIoT を使った経営に切り替わってきているが、公共施設としては難しい。公共施設を運営する人の働き方改革や経費を削減するために、従来なかなか取り組めなかった開館時間の調整や公共施設そのものの在り方のところについても、計画に基づいて検討していただきたい。</p> <p>スポーツ・インテグリティの確保の成果指標である、スポーツハラスメントに関する認識におけるアンケートについて、スポーツ少年団のアンケートを使っていたが、スポーツ少年団としても有意義なアンケートだと思っており、是非活用いただきながら市内のスポーツ・ハラスメントに関する認識を高めていただきたい。</p>
佐藤室長	<p>施設については、計画案に記載のとおり、公共施設は高度経済成長期に建設されたものが多くある。そうした状況のため、今後、市においては、三条市公共施設再配置計画に基づいて、施設の在り方を改めて整理する動きもある。審議会の委員の皆様の見解も伺いながらスポーツ施設も検討していきたいと考えている。</p>

佐藤会長	三条市スポーツ推進計画の修正案について、委員の見解はどうか。
結城委員	修正内容について承知した。
梨本委員	15年の計画期間において、今後の展望と現状できる範囲で行うということ承知した。
中條委員	44ページにセカンドキャリア支援の研究及びアスリートキャリア支援を推進するとあるが、今後どのような対策を考えていくのか考えていることがあればお答えいただきたい。
佐藤室長	セカンドキャリアに関するスポーツ人材については、スポーツ協会を始め新たな人材を採用いただいている。県スポーツ協会でもアスリートキャリアフォーラム等で関東圏を中心に全国からアスリート企業とマッチングを行っている。そうした取組の情報が市内の企業等に十分に伝わっていないことを、以前、岩瀬委員とも話した経緯がある。市からも情報については、積極的に提供させていただきたい。 今、具体的に市で、セカンドキャリア支援、アスリートキャリア支援の取組は、ございませんが、いろんな部分の情報提供、委員の皆様の御意見等いただきながら検討していきたい。
中條委員	57ページの(2)暴力等不適切な行為やドーピングの禁止とあるが、暴力等の不適切な行為等についていかなる理由があっても許されないということは、本当に徹底していければと思っている。しかし、先日スポーツ協会でもスポハラ研修があったが、スポハラする指導者に限って研修会に来ないという人が圧倒的に多いが、来る人は積極的に学びたいという人が多くなってきている。そうすると、スポーツ協会研修会を行うことは一定の効果はあるが、一般の市民に対しての訴え方が弱いという部分があるため、市として、スポハラに対する予防のPRを、広報で示すことができれば、我々のやることの意義がより活きてくるのではと考えているので意見を聞かせてほしい。
佐藤室長	先週の土曜日に、スポーツ協会でもスポハラ研修会が行われた。スポーツハラスメントは、市としても看過できないと思っている。市として、できることは限られていると思うが、何かしら見える形で、スポーツ協会と一緒にイベント等で可能な限り具体化できるものを考えていきたい。
中條会長	広報さんじょうに、我々の講習会の結果などを載せられる機会があると、市民に周知したということにつながると思うが、それについてはどうお考えか。
村上部長	一般市民に対しての訴えが弱い、スポハラする指導者が研修会に出ないということであれば、スポハラ予防は難しいと思うので、中條委員が言われたように、広報でそうした研修会の情報や結果をお知らせするところから始めたい。一見そういうスポーツハラスメントでは

	<p>ないような企画を打ち出して、その中で一部そういうことを入れ込んで、そういうつもりで参加したのではないが、自然と耳に入る、気にとめていただくような仕掛けをする。そういった研修会、講演会や広報さんじょうの特集、あるいはこの計画が決まれば、市民の皆様にお知らせすることも必要なので、いろんな場面や、やり方をしながら行っていけばいいと思っている。具体については計画が定まった後の次年度の計画、またはその翌年度の計画で、当該年度又は次年度の計画について、審議会を通じて私どもの考え方に御意見をいただきたい。</p>
<p>岩瀬委員</p>	<p>32 ページの幼児・児童の運動離れの取組の方向性に「楽しい」を入れたことについて、りんぐるでも色々協力させてもらっているが、楽しいというのが大前提で、幼児や子どもたちに対しては、スポーツをするとか競技に触れるという視点よりも、体を使って楽しく遊ぶという視点を大事にする必要があると思いましたので、楽しんで、と言う言葉を追加していただきたいかった。</p>
<p>久保田委員</p>	<p>スポーツ推進委員協議会の主管事業で、親子や子どもたちがメインになって、スポーツと言うよりも体を動かして一日を楽しく、良い時間を過ごしてもらおうということで事業を行っているので、そういう文言を入れていれてもらおうと励みになる。</p>
<p>岩瀬委員</p>	<p>39 ページの観光とスポーツが融合した取組の検討と実践を行うという記載があるが、県の方は観光スポーツという形でつなげていくという考えがあるが、市では観光とスポーツというのが、結びつきが弱く、まだまだ取り組んでいかなければいけないが、スポーツ協会もそうであるが、なかなかその組み合わせに答えが出ていないと個人的に思っている。これについて、スポーツ振興室の方で考えや方針があれば聞かせてもらいたい。</p>
<p>佐藤室長</p>	<p>県の方は観光とスポーツが結びついた部署になっているということで、スポーツツーリズムということばもあるように、県の動きが主流になっている。この計画の中でも八十里越ということ 키워ドとして進めていく中で、正直、八十里越が開通してもスポーツが大きく動くところはないと思いつつも、お互いの行き来の中で様々なスポット、情報が共有されてくると思う。</p> <p>そうした中で、今後、カヌー等のパドルスポーツや、それ以外の観光分野もつながるということで、只見町と三条市が取り組んでいる情報を共有しながら新しい取組について検討した中で実践できるものを考えていきたい。</p>
<p>岩瀬委員</p>	<p>観光分野だけでなく、スポーツは、いろんな分野につながっていて、市役所の中でも商工課だったり地域経営課だったり、いろんな部署と連携することができるので、行政的には縦割りの部分があり、課を超えることが難しいことがあると思うが、ぜひ他分野と連携、協力していただいて観光、商工、福祉など、様々な分野とつながることができればと考える。</p>

(4) 事務局より連絡

スポーツ推進計画策定に向けた今後のスケジュールについて説明

6 閉 会 午後 7 時 45 分